

# 熊の湯ホテル

Kumanoyu Hotel  
(長野県山ノ内町)



外観

志賀高原の熊の湯スキー場の日帰り駐車場からスキー場に徒歩でアクセスすれば、必ず硫黄臭の洗礼を受けることになるであろう。それが今回紹介する熊の湯ホテルの温泉のおいだ。

この温泉の特徴を一言で言えば、硫黄が豊富に含まれているであろう濁った緑の湯だ。いかにも効能がありそうな、強烈な外観である。

浴室の建物は古い木造。しかし、床と浴槽は最近リニューアルをしたようである。洗い場は 5 か所で、あとは内湯と露天風呂があるだけという極めてシンプルな温泉だ。温泉をそのまま楽しむ。ここに用意されているのは、ただそれだけだ。その泉質に確固たる自信があるからであろう。

まずは露天風呂へ。本日は春の嵐「爆弾低気圧」が日本列島を通過中である。猛烈な風と雨が容赦なく露天風呂へなだれ込んでいる。露天風呂は比較的ぬるめの湯温となっているので、長湯が可能であるが、今日のような日は体を深く浴槽に沈めることになる。露天風呂の脇には滝もあり、ワイルドな雰囲気だ。定員は 8 人くらいだろうか。

内湯は露天風呂に比べるとかなり温度が高い。ホテル側の説明によれば、源泉は 63℃であるが、これでは熱すぎるので 43℃にぬるめて使用しているという。寒い冬に露天風呂が苦手という人は、内湯をお勧めする。しかし、この木造の建物はあまり気密性が良くないようである。ほてった体を冷やすにはちょうど良い温度であるが、温まりたい人にはちょっと酷かもしれない。

洗い場にはリンスインシャンプー、ボディークリーム、固形せっけんが用意されている。

カランは自閉式のサーモスタット混合栓。湯の勢いは少々悪い。

ちなみに、熊の湯ホテルの湯は含硫黄-カルシウム・ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、慢性皮膚病、慢性婦人病、糖尿病、きりきず、動脈硬化症、やけどに効くという。

この温泉はこの緑色の温泉そのものを楽しむための施設である。それ以外のものは何も無い。サウナもなければ、水風呂も、マッサージ風呂もない。しかし、スキーで痛めつけられた体を癒すにはこれが最高である。今日の滑りを思い返しながらか、仲間と談笑できる。こんな楽しみがある国に生まれたことを心から感謝したい。

- **名称**：熊の湯ホテル
- **所在地**：長野県下高井郡山ノ内町志賀高原熊の湯温泉
- **電話**：0269-34-2311
- **営業時間**：平日 12：30～15：30、土日休日 12：30～15：00（宿泊者優先につき要確認）
- **定休日**：無休
- **通常入浴料**：宿泊者は無料、日帰り入浴は大人（中学生以上）1,000円、3歳～小学生600円、3歳未満無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013年4月6日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部